

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成24年12月14日
【四半期会計期間】	第42期第2四半期（自平成24年8月1日至平成24年10月31日）
【会社名】	株式会社グリーンクロス
【英訳名】	GREEN CROSS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 孝二
【本店の所在の場所】	福岡市中央区小笹五丁目22番34号
【電話番号】	092-521-6561
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 松本 光一郎
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区小笹五丁目22番34号
【電話番号】	092-521-6561
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 松本 光一郎
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第2四半期 連結累計期間	第42期 第2四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自平成23年5月1日 至平成23年10月31日	自平成24年5月1日 至平成24年10月31日	自平成23年5月1日 至平成24年4月30日
売上高(千円)	3,179,376	3,634,540	6,781,283
経常利益(千円)	160,677	192,415	484,069
四半期(当期)純利益(千円)	153,152	90,992	318,579
四半期包括利益又は包括利益(千円)	155,291	111,414	321,685
純資産額(千円)	3,386,267	3,556,386	3,552,661
総資産額(千円)	5,322,899	5,636,883	5,823,066
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	35.55	21.12	73.95
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	63.6	63.1	61.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	117,664	133,305	218,341
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	6,332	49,047	34,687
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	140,140	157,162	190,230
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	348,547	266,594	606,109

回次	第41期 第2四半期 連結会計期間	第42期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年8月1日 至平成23年10月31日	自平成24年8月1日 至平成24年10月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	30.95	16.34

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の低迷、円高や原油高などの停滞要因は継続しましたものの、東日本大震災からの復興事業を背景に、公共投資及び民間投資共に底堅い趨勢もあり、総体的には足踏み状態で推移しております。

当社グループが関係する安全機材業界及びサインメディア業界におきましては、復興に係る公共事業及び民間事業に加え、災害に強い社会基盤の整備や循環型社会への取組み等により、全般的に堅調に推移致しました。

このような状況のもと、当社グループは完璧な安全環境の構築、快適な労働環境の創造に向け、変化する外部環境に最有効に適応するべく、環境に配慮したエコプリントシステムや当社独自のサインメディア戦略推進システム等の活用によるサインメディア事業の推進、更にはグリーンクロスロジスティクスの機能力を活かし、物流の集約化によるグリーンレンタル事業の強化を図ってまいりました。これら事業を基として、東日本におきましては、東北地区及び関東圏への新規営業拠点の開設による震災復興への貢献へ、西日本におきましては、強固な営業拠点ネットワークの機能化促進等、経営資源を有効に活用のもと、提案型営業の推進による販路の拡大及び細やかなサービスの提供による取引深耕に注力し、経営理念に基づく企業使命の全うへより一層経営努力を傾注致しました結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績におきましては、売上高3,634百万円（前年同四半期比14.3%増）、営業利益194百万円（前年同四半期比21.0%増）、経常利益192百万円（前年同四半期比19.8%増）、四半期純利益90百万円（前年同四半期比40.6%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ339百万円減少し、266百万円となり、前年同四半期比81百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況に関しましては、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果減少した資金は133百万円（前年同四半期比15百万円支出増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益160百万円があったものの、売上債権の増加116百万円、法人税等の支払額252百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は49百万円（前年同四半期比42百万円支出増）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得34百万円、投資有価証券の取得9百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は157百万円（前年同四半期比17百万円の支出増）となりました。その要因は、長期借入金の返済49百万円、配当金の支払107百万円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,050,500
計	18,050,500

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年10月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年12月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	4,512,640	4,512,640	福岡証券取引所	単元株式数100株
計	4,512,640	4,512,640	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年8月1日～ 平成24年10月31日	-	4,512,640	-	697,266	-	660,866

(6) 【大株主の状況】

平成24年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
青山 悦子	福岡市中央区	513	11.36
グリーンクロス社員持株会	福岡市中央区小笹5丁目22-34 株式会社グリーンクロス内	438	9.71
柴田 泰三	福岡市南区	256	5.67
株式会社グリーンクロス	福岡市中央区小笹5丁目22-34	205	4.54
中野 淑	福岡市南区	166	3.69
東條 優	静岡県浜松市中区	166	3.69
井上 愛	福岡市城南区	166	3.69
株式会社西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前3丁目1-1	128	2.84
椛田 法義	東京都板橋区	102	2.26
リックス株式会社	福岡市博多区山王1丁目15-15	97	2.15
計	-	2,239	49.64

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 205,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,307,600	43,076	-
単元未満株式	普通株式 40	-	-
発行済株式総数	4,512,640	-	-
総株主の議決権	-	43,076	-

(注) 「単元未満株式」の欄の普通株式は、自社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成24年10月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社グリーンクロス	福岡市中央区小笹五 丁目22番34号	205,000	-	205,000	4.54
計	-	205,000	-	205,000	4.54

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年8月1日から平成24年10月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年5月1日から平成24年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,109	266,594
受取手形及び売掛金	1,597,237	1,714,046
商品及び製品	745,957	783,335
レンタル品	353,760	341,479
原材料及び貯蔵品	128,262	128,377
その他	119,933	123,655
貸倒引当金	30,048	21,059
流動資産合計	3,521,212	3,336,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	452,462	451,097
土地	1,318,253	1,318,253
その他(純額)	49,554	58,202
有形固定資産合計	1,820,269	1,827,553
無形固定資産		
のれん	22,464	19,177
その他	93,787	81,643
無形固定資産合計	116,251	100,820
投資その他の資産		
投資有価証券	226,232	232,585
その他	199,147	201,522
貸倒引当金	60,047	62,026
投資その他の資産合計	365,332	372,080
固定資産合計	2,301,853	2,300,454
資産合計	5,823,066	5,636,883

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,323,067	1,332,505
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払法人税等	259,586	98,206
賞与引当金	140,000	190,000
役員賞与引当金	17,000	-
その他	164,078	143,111
流動負債合計	2,003,728	1,863,819
固定負債		
長期借入金	266,676	216,678
固定負債合計	266,676	216,678
負債合計	2,270,404	2,080,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,266	697,266
資本剰余金	662,208	662,208
利益剰余金	2,292,678	2,275,981
自己株式	100,277	100,277
株主資本合計	3,551,876	3,535,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	511	20,923
その他の包括利益累計額合計	511	20,923
少数株主持分	273	282
純資産合計	3,552,661	3,556,386
負債純資産合計	5,823,066	5,636,883

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
売上高	3,179,376	3,634,540
売上原価	1,873,517	2,164,545
売上総利益	1,305,859	1,469,994
販売費及び一般管理費	1,145,468	1,275,851
営業利益	160,390	194,143
営業外収益		
受取利息	65	56
受取配当金	1,909	1,510
為替差益	357	-
雑収入	2,625	2,611
営業外収益合計	4,957	4,178
営業外費用		
支払利息	2,845	2,160
投資事業組合運用損	1,447	1,357
為替差損	-	1,982
雑損失	377	406
営業外費用合計	4,671	5,906
経常利益	160,677	192,415
特別利益		
受取保険金	112,346	-
特別利益合計	112,346	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	31,790
固定資産除却損	15	-
損害賠償金	455	-
特別損失合計	471	31,790
税金等調整前四半期純利益	272,551	160,624
法人税、住民税及び事業税	124,790	91,690
法人税等調整額	5,439	22,067
法人税等合計	119,350	69,622
少数株主損益調整前四半期純利益	153,201	91,002
少数株主利益	49	9
四半期純利益	153,152	90,992

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	153,201	91,002
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,090	20,412
その他の包括利益合計	2,090	20,412
四半期包括利益	155,291	111,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,242	111,405
少数株主に係る四半期包括利益	49	9

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	272,551	160,624
減価償却費	45,538	44,100
のれん償却額	3,287	3,287
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,965	7,009
賞与引当金の増減額(は減少)	5,000	50,000
役員賞与引当金の増減額(は減少)	18,000	17,000
受取利息及び受取配当金	1,975	1,567
支払利息	2,845	2,160
投資事業組合運用損益(は益)	1,447	1,357
投資有価証券評価損益(は益)	-	31,790
有形固定資産除却損	15	-
受取保険金	112,346	-
売上債権の増減額(は増加)	131,893	116,808
たな卸資産の増減額(は増加)	64,155	25,212
仕入債務の増減額(は減少)	245,476	9,438
未払金の増減額(は減少)	369,281	20,645
その他	16,183	5,567
小計	213,125	120,082
利息及び配当金の受取額	1,975	1,567
利息の支払額	2,822	2,191
保険金の受取額	112,346	-
法人税等の支払額	16,037	252,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,664	133,305
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	19,379	34,849
無形固定資産の取得による支出	-	4,400
投資有価証券の取得による支出	58	9,968
投資有価証券の売却による収入	10,149	-
出資金の分配による収入	1,000	2,000
貸付けによる支出	-	800
貸付金の回収による収入	1,866	351
その他	90	1,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,332	49,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	49,998	49,998
配当金の支払額	90,142	107,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	140,140	157,162
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	264,138	339,515
現金及び現金同等物の期首残高	612,685	606,109
現金及び現金同等物の四半期末残高	348,547	266,594

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
受取手形	43,361千円	- 千円
支払手形	13,944	-

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
給料	496,662千円	544,781千円
賞与引当金繰入額	110,740	150,416

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
現金及び預金勘定	348,547千円	266,594千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	348,547	266,594

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成23年10月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年7月28日 定時株主総会	普通株式	90,459	21.00	平成23年4月30日	平成23年7月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年7月26日 定時株主総会	普通株式	107,690	25.00	平成24年4月30日	平成24年7月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成23年10月31日)

当社グループは、道路安全資材、建築防災用品、保安用品、保護具及び各種看板・標識等サインメディアの製作、販売、レンタルを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

当社グループは、道路安全資材、建築防災用品、保安用品、保護具及び各種看板・標識等サインメディアの製作、販売、レンタルを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
1株当たり四半期純利益金額	35円55銭	21円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	153,152	90,992
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	153,152	90,992
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,307	4,307

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年12月11日

株式会社グリーンクロス
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 松嶋 敦 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 森 昭彦 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グリーンクロスの平成24年5月1日から平成25年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年8月1日から平成24年10月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年5月1日から平成24年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グリーンクロス及び連結子会社の平成24年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。